

事務事業調書
平成26年度

事業No	819	課	中央図書館	係	施設管理係	起案者	天野美喜太
						決裁者	寺澤正嗣
事務事業名		図書館施設管理事業			事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 1 生涯学習の推進 1 生涯学習の推進 4 図書館の充実 1 図書館の充実				予算科目(会計)		一般会計			
					予算科目(款・項・目)		50-25-55			
					総合計画以外の計画		安城市図書館推進計画			
					関連する総合計画の施策					
					性質区分	市の内部事務事業				
根拠法令	有	安城市図書館の設置及び管理に関する条例								
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	全部委託		委託先		民間企業					
実施期間	開始	昭和60年度		経過	29年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		図書館の利用者が			~になる		快適、安全に利用できるようになる		
事務事業の内容	図書館の利用者が快適、安全に利用できるように施設を維持管理します。									
改善・対策の履歴	・照度が低かった1階ロビーに蛍光灯を増設しました。(平成23年4月) ・利用者の要望から自転車置場に前輪止金具を設置しました。(同年4月) ・雨漏り場所の修繕を行いました。(同年5月) ・空調機的能力復元のため熱交換器の交換を行いました。(平成24年3月) ・空調用冷却水ポンプ修繕を行いました。(同年5月) ・冷温水発生機の溶液調整を行いました。(同年8月) ・冷温水発生機のLCDフロート交換を行いました。(平成25年7月) ・空調設備の機密不良箇所修繕及び結晶解晶作業を行いました。(平成26年2月)									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	36,665	31,668	38,613	37,262	39,602
財源計	30,365	24,108	29,163	27,812	30,152
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	318	300	239
	一般財源	30,365	23,790	28,863	27,573
受益者負担金	0	0	300	0	0
職員人件費 (従事職員数)	6,300 (1.00)	7,560 (1.20)	9,450 (1.50)	9,450 (1.50)	9,450 (1.50)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	施設・設備点検委託業務	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	委託業務(一式)	活動の総事業費(千円)	12,095	14,110	9,387	
			活動にかかるコスト(千円)	12,095.00	14,110.00	9,387.00	
活動2	活動名 (活動内容)	施設維持修繕委託事務	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	委託業務(一式)	活動の総事業費(千円)	7,730	3,209	5,851	
			活動にかかるコスト(千円)	7,730.00	3,209.00	5,851.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	施設管理に関するクレーム(意見等を含む)件数(件)			目標	20.00	20.00	20.00	20.00
				実績	39.00	38.00	47.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	20.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
	年間入館者数(人)			目標	455,000.00	460,000.00	465,000.00	470,000.00
成果2				実績	429,219.00	408,854.00	392,619.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	470,000.00	達成状況	未達成	未達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	・照度が低かった1階ロビーに蛍光灯を増設しました。(平成23年4月) ・利用者の要望から自転車置場に前輪止金具を設置しました。(同年4月) ・空調機の能力を復元するため熱交換器の交換を行いました。(平成24年3月) ・空調用冷却水ポンプ修繕を行いました。(同年5月) ・冷温水発生機の溶液調整を行いました。(同年8月) ・冷温水発生機のLCDフロート交換を行いました。(平成25年7月) ・空調設備の機密不良箇所修繕及び結晶解晶作業を行いました。(平成26年2月)
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・委託業務については入札により委託業者を決定しているため、単位コストが下がりました。 ・修繕に関しては、空調機の能力を復元するために機密不良箇所修繕及び結晶解晶作業を行った結果、単位コストは上がってしまいました。 ・施設が28年経過しているため、館内設備の修繕が発生した場合は単位コストが高くなることが考えられます。
成果	・設備面については、空調設備等の老朽化による不具合が頻繁に発生し、特に夏場の冷房に関するクレームが多数ありました。また、利用者のマナーに関するクレームも多数あったため、目標件数の20件を超える47件のクレームを受けることとなりました。今後は、予防運転や早めの修繕、また、館内の定期的な巡回や気づいたフロアスタッフによる早めの対応が、成果指標を達成するための重要なポイントになると考えられます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
昭和60年の図書館建設から29年目を迎えているため、空調設備の老朽化によることは十分に説明します。しかし、館内環境について新施設完成までの間、運営管理に最低限必要な修繕は継続する必要があります。空調だけでなく館内の照度においても、暗いと思われる場所については、蛍光灯の増設など、利用者が閲覧しやすい環境を整えることが必要であります。古い施設であっても、清掃や整理整頓を心がけ、利用者に不快な印象を与えないようにしなければなりません。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	図書館利用者が安全で快適に利用できる環境を保持していくために必要な事業であり、今後も継続して充実に努めていきます。

事務事業調査
平成26年度

事業No	786	課	中央図書館	係	図書係	起案者	神谷美恵子
						決裁者	寺澤正嗣
事務事業名		図書館資料貸出事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり			予算科目(会計)		一般会計				
	1 生涯学習の推進			予算科目(款・項・目)		50-25-55				
	1 生涯学習の推進			総合計画以外の計画		図書館推進計画				
	4 図書館の充実			関連する総合計画の施策		4-1-1-4-1				
	1 図書館の充実			性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの					
根拠法令	有	図書館法、文字活字文化振興法								
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	有	H17.9一般質問答弁：専門性の高い職員の配置、地域電子図書館の構築、市民実利用率と利用者満足度の向上								
陳情・市民要望	有	利用者アンケート(H16.9/H20.7実施)や文書、メール等で随時、要望多数								
実施方法	直営		委託先							
実施期間	開始	昭和24年度		経過	65年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		資料を必要とするすべての市民が			~になる		図書館の各種資料・情報に満足し、貸出冊数や実利用者数が伸びる		
事務事業の内容	図書館利用者のニーズに応じた図書館資料を迅速かつ的確に選定・収集し、又は他の図書館との相互貸借により提供します。									
改善・対策の履歴	(H18) 公民館図書室を通年で午後8時に拡大。新規購入資料から順次、ＩＣタグ貼付の開始とＢＤＳゲートの設置 (H19) システム更新に併せて「リライトカード」導入。(H20) 自動貸出機(2台)設置 (H21) 平日の開館時間を通年で19時に拡大。閉架の郷土資料を除く全資料にＩＣタグを貼付し、貸出・返却業務の時間短縮と資料の紛失防止の徹底。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費		114, 149	118, 083	132, 862	132, 990	130, 842
財源計		92, 099	86, 583	95, 062	95, 190	93, 042
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他()	340	5	50	77	50
	一般財源	91, 759	86, 578	95, 012	95, 113	92, 992
受益者負担金		340	0	50	0	0
職員人件費 (従事職員数)		22, 050 (3. 50)	31, 500 (5. 00)	37, 800 (6. 00)	37, 800 (6. 00)	37, 800 (6. 00)
人事課予算分 人件費		0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	図書資料の計画的な購入	見込	37,000.00	37,000.00	37,000.00	40,000.00
			実績	36,831.00	36,735.00	40,417.00	
	指標名 (単位)	新規購入図書数(冊)	活動の総事業費(千円)	78,973	88,650	100,953	
			活動にかかるコスト(千円)	2.14	2.41	2.50	
活動2	活動名 (活動内容)	購入雑誌・新聞の充実	見込	290.00	290.00	226.00	226.00
			実績	285.00	226.00	221.00	
	指標名 (単位)	購入雑誌・新聞種数(種)	活動の総事業費(千円)	5,442	5,125	5,318	
			活動にかかるコスト(千円)	19.09	22.68	24.06	
活動3	活動名 (活動内容)	A V資料の計画的な購入	見込	1,000.00	1,300.00	700.00	700.00
			実績	1,282.00	635.00	787.00	
	指標名 (単位)	新規購入A V資料点数(点)	活動の総事業費(千円)	6,502	5,125	4,932	
			活動にかかるコスト(千円)	5.07	8.07	6.27	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	市民1人あたり個人貸出冊数(冊)			目標	11.44	11.78	12.00	10.50
				実績	10.76	10.35	9.93	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	10.50	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2	市民の年間実利用者数(人)			目標	31,700.00	32,200.00	32,700.00	33,200.00
				実績	32,176.00	31,308.00	30,707.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	33,200.00	達成状況	達成	未達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	・平成17年に「安城市図書館推進計画」を策定。平成20年に実施した「利用者アンケート」では、窓口対応の満足度は77.8%、図書館サービス全般の満足度は82.0%との回答結果を得ました。これをもとに、各分野の資料の充実やA V資料、雑誌の充実などを図ってきた。適宜、利用者の動向や「図書館協議会」等の意見を反映させながら見直しを行っています。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・25年度は、一般書24,219冊・児童書16,198冊、雑誌5,070冊、A V資料(C D・D V D)787点を購入し、寄贈等で1,951冊を受け入れ、汚破損等で38,696冊を除籍した結果、蔵書数は669,699冊となりました。 ・総貸出冊数は前年比7万1,761冊減の188万5,507冊となりました。
成果	・市民実利用者数は、15年度34,121人、16年度32,591人、17年度31,065人、18年度30,541人、H19年度34,652人、H20年度30,228人、H21年度30,728人、H22年度32,098人、H23年度32,176人、H24年度31,308人、H25年度30,707人と前年よりやや減少傾向となっています。 ・今後とも新規利用者の一層の開拓と「リピーター利用者」の確保を目指し、サービスの向上に努めます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
「市民一人あたりの貸出冊数10冊以上の維持」と「市民実利用者数の上昇」を当面の目標にしている。平成20年の「利用者アンケート」で、窓口対応の満足度は77.8%、図書館サービス全般の満足度は82.0%となっています。市民の図書館満足度を低下させることなく、少しでもアップさせるように、今後とも市民ニーズに沿った的確な選書と窓口での接遇改善に努めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
拡充	・図書館の蔵書に「新鮮さ」が感じられるには常に蔵書の1割以上を新刊図書が占めている必要があるといわれています。本市の公民館図書室9か所を含めた「開架」スペースの収容能力は約34万冊であり、今後も必要な予算を確保しながら、利用者のニーズを的確に把握した選書に努め、年間3万冊以上の図書の新規購入を図っていきます。また、市民実利用者の拡大のためには、新たな図書館利用者の開拓が必要ですので、新規事業の開催や広報あじょう、新聞への記事の掲載を積極的に依頼します。

事務事業調査

平成26年度

事業No	788	課	中央図書館	係	図書係	起案者	水谷隆志
						決裁者	寺澤正嗣
事務事業名	地域電子図書館構築事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 1 生涯学習の推進 1 生涯学習の推進 4 図書館の充実 1 図書館の充実		予算科目(会計)		一般会計			
			予算科目(款・項・目)		50-25-55			
			総合計画以外の計画		図書館推進計画			
			関連する総合計画の施策					
			性質区分	市の内部事務事業				
根拠法令	有	図書館法、文字活字文化振興法						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	有	H17.9一般質問答弁：専門性の高い職員の配置、地域電子図書館の構築、市民実利用率と利用者満足度の向上						
陳情・市民要望	有	利用者アンケート(H16.H20実施)や文書、メール等で随時、要望多数						
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成18年度	経過	8年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	多くの市民が			~になる	紙と電子が融合した「ハイブリッド図書館」を有効活用できる		
事務事業の内容	①地域資料のデジタル化として、図書、パンフレット、文書などを選別し、計画的にデジタル化します。また、博物館等が所蔵するもの、映像資料も対象とします。なお、各課の作成した報告書、計画などの行政資料もデジタルデータで収集します。②デジタル化した地域資料・行政資料の閲覧・公開システムを構築し、地域資料のアーカイブ化を計画的に進めます。③市民向けインターネットパソコンを整備し、外部データベースの公開などを進めます。							
改善・対策の履歴	・デジタル化した地域資料のWeb上での公開を、平成20年12月末から図書館ホームページの「郷土メニュー」の中で開始しました。22年度で、デジタルアーカイブが検索できるように改良しました。23年度はオンラインデータベースの見直しを実施しました。 ・館内に無線LANアクセスポイントを4ヶ所設置しました。(25年5月) ・持込パソコン等の利便を図るため、郷土参考室、第1地学習室に電源コンセントを設置しました。(25年10月)							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,739	11,811	7,878	7,001	4,801
財源計	1,109	8,661	4,728	3,851	1,651
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	1,109	4,728	3,851	1,651
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	630 (0.10)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	地域資料のデジタル化	見込	0.00	20,000.00	1,000.00	1,000.00
			実績	0.00	89.00	1,919.00	
	指標名 (単位)	デジタル化の画像点数(枚)	活動の総事業費(千円)	0	10,164	1,523	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	114.20	0.79	
活動2	活動名 (活動内容)	デジタル資料の公開・閲覧	見込	0.00	40.00	1.00	1.00
			実績	0.00	0.00	1.00	
	指標名 (単位)	公開する資料点数(点)	活動の総事業費(千円)	0	0	1,260	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.00	1,260.00	
活動3	活動名 (活動内容)	利用者開放PCの整備	見込	6,500.00	5,000.00	4,547.00	5,000.00
			実績	4,479.00	5,044.00	4,547.00	
	指標名 (単位)	利用者開放PC等の利用人数(人)	活動の総事業費(千円)	1,109	630	630	
			活動にかかるコスト(千円)	0.25	0.12	0.14	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	デジタル資料・外部データベース・所蔵CD-ROM等の閲覧件数(件)			目標	2,738.00	2,920.00	3,103.00	3,285.00
				実績	3,565.00	3,477.00	3,775.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	3,285.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	利用者開放PC等の利用回数(回)			目標	9,682.00	9,828.00	9,970.00	9,000.00
				実績	6,368.00	5,044.00	6,562.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	9,000.00	達成状況	未達成	未達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	・20年度の途中から始めた「地域資料デジタルアーカイブ」のHP上での公開は、21年度は月平均190件、22年度は月平均230件、23年度は月平均297件、24年度は月平均289件、25年度は月平均314件のアクセスとなっています。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	電子複写機のデジタルスキャン機能を活用し自主制作すめています。また、関係各課との協議によりデジタルでの作成データの提供を受けることにより、予算対応なくともある程度すすめることが可能です。
成果	利用者開放パソコンの利用率は現状25%程度ですが、館内無線LANの整備により、持込みパソコンの利用が拡大しています。単にインターネットに接続できるだけでなく、今後は、さらに利用価値のある資料を充実させることが、全般的な利用率の向上につながるものと思っています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
紙媒体と電子媒体を融合させた「ハイブリッド型図書館」を利用してもらうには、デジタル化地域資料や外部データベースの導入が重要であり、今後一層の推進に努めたいと考えています。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
拡充	今後、民間企業が運用している経済情報、医療情報、事典、図鑑、音楽等のデータベース閲覧サービスを活用し、利用者開放パソコンの利用率を向上させ、「ハイブリッド型図書館」の実現を目指したいと考えています。

事務事業調査
平成26年度

事業No	789	課	中央図書館	係	図書係	起案者	神谷美恵子
						決裁者	寺澤正嗣
事務事業名		読書活動推進事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 1 生涯学習の推進 1 生涯学習の推進 4 図書館の充実 1 図書館の充実			予算科目(会計)		一般会計	
				予算科目(款・項・目)		50-25-55	
				総合計画以外の計画		図書館推進計画、子ども読書活動推進計	
				関連する総合計画の施策			
				性質区分	市の内部事務事業		
根拠法令	有	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、文字活字文化振興法					
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	有	H26.6一般質問答弁：読書通長機の導入による子どもの読書意欲の向上を					
陳情・市民要望	有	利用者アンケート(隔年で実施)や文書、メール等で随時、要望多数					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業、ボランティア				
実施期間	開始	昭和24年度	経過	65年目	終了		期間
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	より多くの市民や子ども達が			~になる	読書に親しみ、心豊かになる	
事務事業の内容	・市民の読書活動を推進し、子どもが読書に親しみ図書館や公民館図書室をより身近なものにしてもらうため、出前おはなし会や定例のおはなし会、様々な講演会・講座等を開催するとともに、読書グループやおはなしボランティアの育成・支援を行います。また、平成25年8月から開始した安城版ブックスタートも継続します。・団体貸出を推進し、学校や地域での読書活動の支援を行うとともに、学校・保育園・幼稚園など関係機関と連携し、子どもの発達段階に応じた読書環境の整備に努めます。						
改善・対策の履歴	読書活動推進事業の対象が子どもに偏りすぎているのではないかと指摘を受け、25年度では「弥次さん、喜多さんとお伊勢さん参りー『東海道中膝栗毛』を読む」という一般向けの古典講座を実施しました。7回講座でしたが50代を中心に24人(男女半々)の方が受講され好評でした。今後は修了生による読書グループ設立も視野に入れ継続したい事業です。						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	13,697	18,140	28,676	22,778	11,898
財源計	1,097	3,650	14,186	8,288	2,448
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	21	489	996	309
	一般財源	1,076	3,632	7,292	2,139
受益者負担金	16	12	0	5	0
職員人件費 (従事職員数)	12,600 (2.00)	14,490 (2.30)	14,490 (2.30)	14,490 (2.30)	9,450 (1.50)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	ボランティア養成・スキルアップ講座の開催	見込	25.00	25.00	30.00	30.00
			実績	37.00	27.00	34.00	
	指標名 (単位)	ボランティア養成・スキルアップ講座開催数(回)	活動の総事業費 (千円)	660	666	694	
			活動にかかるコスト (千円)	17.84	24.67	20.41	
活動2	活動名 (活動内容)	全公立幼稚園・保育園への出前おはなし会の開催	見込	320.00	320.00	380.00	380.00
			実績	382.00	444.00	438.00	
	指標名 (単位)	全公立幼稚園・保育園出前おはなし会開催数(回)	活動の総事業費 (千円)	630	630	630	
			活動にかかるコスト (千円)	1.65	1.42	1.44	
活動3	活動名 (活動内容)	安城版ブックスタートの実施	見込	0.00	0.00	32.00	48.00
			実績	0.00	0.00	32.00	
	指標名 (単位)	安城版ブックスタート実施回数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,260	1,280	9,626	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	300.81	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	図書館での定期的なおはなし会の充実(人)			目標	3,200.00	3,500.00	3,700.00	4,000.00
				実績	3,710.00	3,391.00	3,349.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	4,000.00	達成状況	達成	未達成	未達成
成果2	読み聞かせボランティアの育成と支援(人)			目標	150.00	160.00	170.00	180.00
				実績	158.00	184.00	192.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	180.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	・18年度より公民館を拠点に活動する読み聞かせボランティアを養成するための講座を順次開催し、25年度がその最終年度でした。26年度からは昭林公民館を含めた全ての公民館でおはなし会を定期的に開催することとなります。公民館でのおはなし会には一年で2,500人以上の参加者があり、これにより、より身近な公民館でおはなし会に参加でき、未就園の子どもたちの読書環境が一層整えられました。また、「安城版ブックスタート」を受けた方の次のステップとしての機能も果すこととなりました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・全公立幼稚園・保育園(全27園)への定期的出前おはなし会は、職員だけでは出来ないため、12の読み聞かせボランティアグループに19園へ出向いてもらっています。・ブックスタートでは、そのために立ち上げたボランティアグループ「ふぁーすとBook」(会員26名)の皆さんが主力となり実施しています。・学校等による団体貸出の利用促進のため、事前申込があれば希望内容の図書、冊数を図書館で用意するサービスを行っています。
成果	・園へ出向くことによって、多くの子どもたちがおはなしや本の面白さを体験できました。・安城版ブックスタートでは、ボランティアの方々の丁寧な対応が好評で、95%の配布率でした。いずれも今後の子どもたちの読書習慣の醸成につながると考えます。・ボランティアの方々の活動は大変活発で読書活動推進の牽引力となっています。多くの方は熱心で真面目に活動されていますが、活動内容の慎重な精査も必要と考えます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
市域全体のおはなし会のサービス網を充実させるため、図書館はコーディネーター役、パイプ役も重要です。その役目を発揮するためには、ボランティア以上の知識と経験が必要です。職員の自己研鑽、研修も一層力を入れていきます。また、私立幼稚園・保育園への出前おはなし会実施の向けての研究もしていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
拡充	安城に生まれた子どもたちが、豊かな読書体験を積みながら大人になれるような読書環境を整えるため、今後も市民と協働し、きめ細かな読書活動推進事業を行います。・また29年度に開館する図書情報館では学校図書館との情報共有、人的交流、物流の方法を考えます。